

長崎教会管区 東日本大震災復興支援 大槌ベースキャンプ

東日本大震災復興支援 ボランティア募集

＜募集期間＞

2011年10月～2014年3月

＜活動拠点＞

カリタスジャパン大槌ベース
(岩手県)

募集要項(一部抜粋) 詳細はお問い合わせください

◆ボランティアについて
ボランティアの大切な基本の一つは自己管理・自己責任です。ボランティアは自己満足のためではありません。必要や求めに応えることです。

◆宿泊について
宿泊は和室・洋室など共同利用最大40人宿泊可。食料・風呂は提供します。(場合によっては要費持参の場合有り)

◆持ち物について
健康保険証、シーツ上下(またはクリーニング代)枕カバー、洗面用具、タオル、服用薬品、衣類など常備の範囲。

◆リスクについて
被災地におけるボランティア活動には様々な危険を伴う場合があります。ボランティア活動に参加される方は、リスクを伴う活動であることを十分に理解し、それに対するリスクに対して自己責任で活動していただくことをご了承ください。未成年者については保護者の同意書が必要で、中学生以下のボランティアは保護者または責任者との同伴でご参加下さい。

◆費用について
交通費は原則自己負担をお願いします。

短期・長期問わず募集しています。ご相談下さい。

短期ボランティア

- 仮設住宅訪問 炊き出し
- 在宅被災者の訪問
- ベースおよび出前による喫茶サービス
- 被災者個別支援 洗濯 掃除 炊事
- 雪かき整備など
- 配達通院 買いだし
- 物資仕分け 送迎支援など
- 大槌町社会福祉協議会・大槌町NPO
- 非営利組織との連携による奉仕作業
- カリタスジャパン釜石ベース・大船渡ベース・宮古ベース等近隣との連携

長期スタッフ

- ベースでのプロジェクト担当
- 傾聴スタッフ
- 仮設住宅戸別訪問担当
- ベースの管理運営(事務・会計・厨房・その他)

ご応募お待ちしております

福岡教区被災者支援室(教区事務所内)

担当 松井忠之神父 電話:092-522-5139 FAX:092-523-2152
E-mail: cdf-curia01@mbenifty.com

2012年の司祭総会が、一ベルに上げていきたい、とい



2011年度、第5回目の司祭評議会が2月7日(火)に司教館にて開催された。

評議会の冒頭、この度、教区神学生として認定を受ける朴神学生をはじめ、韓国からの神学生候補者5人が司祭団

信徒使徒職協議会のあり方も討議

また既に発表された教区の役務の遂行、また今年度の教区目標である信仰の生涯学習についての具体化について、さらに11月23日に予定されている「教区の日」の趣旨について説明した。この教区の日

1月30・31日、2月7日と福岡教区の司祭総会、司祭評議会が行なわれた。総会では、教区内での司祭の役務の確認や、昨年11月23日に初めて開催された「教区の日」のあり方など熱のこもった討議が行なわれた。評議会では、韓国からの神学生候補者の紹介、年間目標など多岐に亘って討議された。

今年は2回目『教区の日』のあり方は！
神学生候補者紹介、司祭召命担当からの提言・・・
う展望を述べた。

小教区のみならず、教区のレベル、すなわち教区全体から教会の動きを注視できるような日にしたいと述べた。



宮原良治司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通 6-28
発行人 人
カトリック福岡司教区
編集人 森山信三
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部 60円

3月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう
【一般】女性の貢献
【宣教】迫害されるキリスト者
【日本の教会】観想修道院の支援

ように講師のお話を聞くだけに終わることなく、各地区、小教区の現状の把握等ができる形式にしてほしい旨提案され、信仰生涯学習は、まず司祭の養成から始めるべきだという意見が出された。



に紹介された。議事に入り、まず、年間目標「信仰生涯学習」の取り組みについて、6月に予定されている司祭研修会は、従来の

私の部屋に14時46分で止まった時計がある。言わずと知れた2011年3月11日に起こった東日本大震災の発生時刻である。電池の切れ

次に、11月18日に予定されている大名町小教区設立125周年について、司教より駐日教皇大使を福岡にお招きしてはどうかという意向が提案されたが、あくまで大名町としては、小教区の記念日として祝う準備を始めている

分かつ合い、回心の機会とすべきであり、そのために同伴していただける指導者に依頼して3日間を過ごすことになった。候補としては、溝部

司祭(高松教区名誉司教)などがあられ、内容は担当の生活教化委員会に一任することとなった。

家族や親戚、知人の安否、それにもまして原発の事故のことが気になり、何かしなければと思っていた矢先、「震災のために9日間の祈りを捧げよう」との東京の知人からのメール、「そうだ、祈らなければ・・・」と月ごと11日の祈りを思い立った。「震災のための祈りのリレー」は東京教区が平和旬間のときに毎年行っているものがモデル。誰でも気軽にどこでも出来る「ボランティア」かもしれない。毎月11日の案内を送信すると、短い祈りの言葉を添えて参加のメールが届く。多くの祈りの輪、仲間が出来た。いつたいのどのくらいの人が参加しているのか想像もつかない。

は、「司祭の家」の返済のため、また教区会計松井師から

また、司祭レベルでは福岡、佐賀、熊本、北九州地区の4地区であるが、信徒レベルではこれに筑後地区が加わり5地区という区分けがされている点についても、福岡、筑後両地区長及び信徒協担当司祭で検討し、齟齬がないように明確化することが決まった。

て、信徒協という組織の見直しの時が来ているのではないかとという点、信徒協からの呼びかけの情報がなかなか伝わらない、司祭の協力が無い等の点があげられた。

宣教師司祭評議会のメンバーとしては、司祭、信徒、修道者であるが、各代表だけか、あるいは地区の全司祭なのかなど種々の意見が交わされたが、差し当たり熊本地区では、共通理解が出来ているようなので、このシステムをスタートさせ、他の地区も検討に入っていくことで合意した。

い。そうして1年が経った。1年を区切りやめようと思ったが、被災地の方が「だんだん忘れられていくのが辛い、寂しい」と語っているのを聞いて「続けなければ」と思っている。多分3月11日以降、報道は1年ごとのサイクルに変わっていくような気がする。13ヶ月目の11日にも変わらず記憶して祈り続けようと思う。部屋にある「止まった時計」はベッドのそばの壁にかかっている。目覚めたときも眠りにつくときも同じ時間をさして。

また教区会計松井師から

◆飯塚教会主任(飯塚幼稚園園長補佐兼任) 〓レヴィック・キー・アンジェイ(神言会)

◆飯塚教会主任(飯塚幼稚園園長補佐兼任) 〓レヴィック・キー・アンジェイ(神言会)

◆飯塚教会主任(飯塚幼稚園園長補佐兼任) 〓レヴィック・キー・アンジェイ(神言会)

聖パウロ会修道士

小生の教会付属幼稚園に福島から避難して来られた母子がおられる。5歳のKちゃん。地震で恐ろしい体験をしたばかりではなく、原発の脅威から逃れて福岡の地で生活している。東北の劇団が「アテルイ」という演劇を福岡で開催する。アテルイの息子役に東北に縁のある子どもを

◆飯塚教会主任(飯塚幼稚園園長補佐兼任) 〓レヴィック・キー・アンジェイ(神言会)

◆飯塚教会主任(飯塚幼稚園園長補佐兼任) 〓レヴィック・キー・アンジェイ(神言会)

◆飯塚教会主任(飯塚幼稚園園長補佐兼任) 〓レヴィック・キー・アンジェイ(神言会)

小生の教会付属幼稚園に福島から避難して来られた母子がおられる。5歳のKちゃん。地震で恐ろしい体験をしたばかりではなく、原発の脅威から逃れて福岡の地で生活している。東北の劇団が「アテルイ」という演劇を福岡で開催する。アテルイの息子役に東北に縁のある子どもを

みことばの僕になるために (2)

森山信三神父

ローマでの聖書集中講座は、毎週テーマと講師が変わったが、一貫していたことは、レクチオ・ディビナ(霊的読書、聖なる読書)の重要性であり、このことが繰り返し語られた。第1週の講義のテーマは「王よ、私たちに(み言葉を)読むことを教えて下さい」であった。3ステップの霊的読書法が紹介された。第1

ステップは、聖書の文字通りの意味を把握することである。まずテキストをゆっくり音読し、数分沈黙する。そして、心に響いた言葉、フレーズを単純に分ち合う。説明や議論をしない。第2ステップは文字通りの意味から今度は、神の生きた言葉として霊的な意味を探る。第1と同様にテキストを音読し、数分の沈黙。そして自分にとってこの箇所はどんな霊的糧を与えてくれたか、この私に神は何を語りかけておられるかを分かち合う。第3ステップ。みことばに対する応答である。同じテキストを今度は3

回読む。深い沈黙と祈りがこれに続く。このテキストに応じて、私はどう行動すべきか、どんな回心を要求されているかを分かち合う。各自が祈りと願いを捧げ、聖歌を歌って会合を終える。この方法で、1週間毎日様々なテキストから分かち合いが続いた。貧困(タイの修道者)や抑圧、迫害の中で(バキスタンの司祭)働く司祭や修道者の分かち合いは感銘を受けた。彼らにとって聖書は自分たちが生きていく力の源泉だということとが伝わってくる。勿論私にとっても聖書は、霊的な糧であった。しかし、彼らにとつ

てみ言葉は、厳しい生活環境の中で唯一の光であり、支えなのである。と同時に聖書は単に読むための本ではなく、祈りの本であるということも教えられた。「雨も雪も、ひとたび天から降れば、むなしく天に戻ることはない。それは大地を潤し、芽を出させ、生い茂らせ種蒔く人には種を与え、食べる人には糧を与える。そのように、わたしの口から出るわたしの言葉もむなしくは、わたしのものに帰らない。それはわたしの望むことを成し遂げ、わたしが与えた使命を必ず果たす。」(イザヤ55章10節から11節)

2月19日(日)、朴鎮亮(パク・チンヤン)神学生の助祭・司祭候補者認定式、朗読奉仕者ならびに祭壇奉仕者選任式が行われた。

朴神学生は韓国・テジョン教区の出身で今年41歳。宮原良治司教の招きを受け



朗読奉仕者に選任され聖書を授与される朴神学生

は、神のことばに任せ、それの人々に告げ知らせる務めが委ねられ、その使命を果たすために自らがみことばに養われ、言葉と行いによってそれを証しする者となる決意を表明した。そしてことばの典礼において、授与された日本語

ミサ聖祭に続くお祝いの式で、教区神学生養成担当の杉原寛信神父(新田原教区)は、「これからの多くの困難を、これまでの人生経験を生かして乗り越えてほしい、その姿が後に続く神学生と信徒の皆様への力強い模範となります」と激励した。

朴神学生は、これに添えて、「日本を愛しています。この国で宣教に励みたいので、お祈りの支えを」と日本語であいさつした。



今は雪がいっぱいだと思う仮設住宅

今回の大槌町にある「カリスジャパン・大槌ベースキャンプ」という施設に泊まらせていただきました。ここは長崎教会管区の協働で、ビジネスホテルを改造して作られたボランティア宿泊施設です。

初日は1日被災地を歩き回ったのですが、崩れた橋や残った家の中、小学校、そして結婚式を記録した本などなど・・・津波がさらっていった物がたくさんあり、来ることを楽しみにしていた自分が情けなく思えました。

ミサ用ワイン

ヴィノ デ ミサ
VINO DE MISA
スイートタイプ(赤)(白)

ご用命 お問い合わせは
有限会社 **大楠酒店**
ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453



ベネディクト 朴 鎮亮神学生

教区神学生として認定式と選任式

福岡教区司祭として働きたいと、一昨年一時来福して日本語の習得に励むなど準備してきた。

式は、カテドラル大名町教会の通常の主日の朝のミサの中で行われた。

入祭のあいさつの後、朴神学生は、担当者の呼び出しに「はい」と答え、宮原司教の前に進み出て、将来、助祭・司祭の叙階を受けて教会で奉仕職を果たしたいとの望みを表明、福岡教区の叙階候補者として正式に認定された。

その中の助祭が福音を朗読、他は祭壇で奉仕した。

また韓国には、このような日本でも働くことを希望する神学生を募り支える信徒のグループがあり、式にはその発起人であり責任者をつとめる方も参列、召命の実りのため共に祈りをささげた。福岡教区神学生となった朴鎮亮神学生は、この後インチョン教区の神学校で残りの勉強を続ける。

派遣の後、1階講堂で歓迎の茶話会が行なわれた。この日の夜半から降り続いた雪でカテドラルの周辺も銀世界、交通規制もある中を、福岡地区、北九州地区の「召命を共に祈る会」のメンバーも駆けつけお祝いをした。北九州のメンバーは「交通渋滞でミサに間に合いませんでした。残念でしたが、何とかお祝いの気持ちを共にしたくてがんばって来ました」と、茶話会の席で語った。

別れ・出逢い・旅立ち

草苑 (SOU-EN)

カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。

木下株式会社

TEL 092-526-5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5

自分の目で確かめたい!

去年の3月11日、東日本の太平洋沿岸に強い津波が押し寄せました。僕も家のテレビでその光景をみてこれが現実なのかと衝撃を受けました。

この衝撃は、だんだんと「行ってみよう!自分の目で確かめたい!」という欲望に変わり、ついに松井神父様を紹介してもらい、僕は被災地に建てることになりました。

す。申し込んで行くと食事や活動先(「仕事」)も紹介していただけます。

大槌町に着いた時はもう真っ暗でした。町内には街灯もほとんどなく、釜石駅からキャンプまでタクシーに乗ったのですが辺りは何もみえませんでした。

翌日、ベースの窓から顔を出すとそこは声も出ないような光景が広がっていました。ガレキは片付けられ、復興のために人工的に崩された家の土台や人の生活していた証が散乱していました。

被災地は今、助けを必要としているし、自分のためにも被災地に行くことに間違いではないと思います。

こんな事を言っているのか分かりませんが、震災でもとにかく起こったのなら自分のために・人のために活かしましょう!!!被災地の復興はもう始まっています。震災は忘れられていくもの、自分が忘れないためにも、後に伝えるためにも、まずは被災地に行きましょう。行けなくても募金など協力できることはいろいろあると思います。

なにか行動を起こすことが大切なのだと思います。

笹丘教会 中学1年 小林 郁人

召命祈願ミサについてお知らせ

1997年6月に「福岡サン・スルピス大神学院」と「福岡地区召命を共に祈る会」の共催によって始められた「召命祈願ミサ」も、2012年1月12日のミサで90回を迎えました。この間、主の祭壇へと多くの神学生が召され、召命祈願ミサは参加者一同にも大神学院の典礼にあずかる喜びと祈りの力強さを体験する機会でもありました。

しかし、時の流れと大神学校の統合など様々な変化がおきてきました。

現在、召命養成のためのミサ、祈祷会等は北九州、熊本地区、福岡地区などそれぞれの地区の教会などで祈られていきます。従って、日本カトリック神学院福岡キャンパスを会場とした共催での召命祈願ミサを終了し、場所を移してこれまでのように「福岡地区召命を共に祈る会」が主催して召命祈願ミサを捧げる事になりました。場所は、会場になるカテドラル・大名町教会に

ご協力をいただき、日時についてはその都度のお知らせ、教区報での案内などで行なうことといたします。

これまで召命祈願ミサを共にささげ、お祈りいただいた多くの信徒・修道者の皆様に感謝申し上げます。また、召命養成は教会にとりまして重要なことです。今後、大名町教会にて捧げられる召命祈願ミサにお集まりいただき、お祈りいただきますようよろしくお願いいたします。

次回召命祈願ミサ 4月11日
福岡地区召命を共に祈る会

ちょっと一息



*指揮棒が降り一楽章分の咳
*再会の人四五五年をしゃべりあげ

坂牧春妙
深堀正平

来住英俊神父による四旬節の講話

*日帰り (10:30~14:30)
費用: 2000円+食費
◇3月15日(木) マルコによる受難①
◇3月22日(木) マルコによる受難②
◇4月2日(月) マルコによる受難③

*1泊 (16:30~15:00)
費用: 9000円 (3食含)
◇3月17日(土)~18日(日) 主の受難にあずかるとは?
◇3月24日(土)~25日(日) 主の過ぎ越し・私の過ぎ越し



カトリック福岡黙想の家

カトリック御受難修道会・宗像修道院
811-4155 福岡県宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222・Fax 0940-32-3385
インターネットで検索 **福岡黙想の家** 検索

福者小笠原玄也 一家殉教の朝を偲ぶ



1月30日(月)、福者小笠原玄也一家15人の殉教記念日に当り、早朝6時より花岡山殉教者墓地広場にて、「巡礼者、早朝の祈りの集い」が行われた。大寒の厳しい寒さの中、熊本市内各地より、修道者、信徒約50人がここに集まった。

司祭は、会衆を前に招きの祈りを唱え、続いて、早朝の静寂の中で、聖書が朗読された。「一粒の麦は、地に落ちて死ななければ一粒のままであるが、死ねば多くの実を結ぶ。自分の命を愛するものはそれを失うが、この世で自分の命を憎む人はそれを保つて、永遠の命に至る」(ヨハネ・11・24、26)。

参列者皆、このみ言葉を聴き380年前、小笠原玄也一家15人はどんな思いで殉教のこの朝を迎えられたのであろうかと、早朝未だ明けやらぬ厳寒の中しほしの間、夫々、思い思いに黙想を行った。

「早朝の祈りの集い」の締めくくりに、福者15人の殉教者一人ひとりに取次を願う連祷が唱えられた。

佐賀地区信徒協が研修会



1月22日(日)、佐賀地区信徒研修会が佐賀教会・佐賀カトリック幼稚園で行われた。昨年9月の福岡教区信徒研修会を受け、その日に参加できなかった佐賀地区の多くの信徒と共に分かち合いができるようにと佐賀地区信徒協が企画したものである。

まず9月の研修会での森一弘司教の基調講演を撮影したDVDを上映し、その後、小グループで分かち合いという形式で行われた。

日本カトリック難民移住移動者委員会 長崎教会管区セミナーを熊本で開催



2月11日(土・祭日)熊本マリスト学園を会場に、九州各県(長崎・福岡・大分・佐賀・宮崎)から子ども達を含め300人が集まった。

開会のあいさつはシスター細瀬則子(難民移住移動者委員会秘書)。基調講演は佐藤信行氏(在日韓国人問題研究所所長、外務省事務局員)。

佐藤氏は、テーマ「改定入管法問題」(2012年7月から実行される改定入管法を検証する)と題して講演。その後、20のグループで分かち合いが行われた。

午後からは、「入管法」がより理解できるように中島眞一郎氏(行政書士、

この集いに毎年参加している男性の信徒は、「東日本で大震災があり、今年は身の引き締まる思いでこの集いに参加しました。」と次のように感想を述べた。

「15名の殉教者の中で、三女『つち』と三男『権之助』は、幼くして殉教した方です。東日本では、両親を亡くした子どもたちが大勢います。私は、子どもたちがこれから荷負う十字架を、幼い二人の殉教者におゆだねすることで、これから連帯感が生まれ、これから先、子どもたちの心のより処となつて下さるよう、真剣に神に祈りました」と。

2月19日(日)、福岡地区信徒協では、宣教会部及び広報部会がカテドラルにて開催された。

宣教会部では、8月の平和旬間の行事として、2年間ほど、教会学校の子どもたち中心の平和授業を開催してきた。この件で、各教会宛てのアンケートの集計結果が報告され、お盆の時期は参加困難な教会が多いこと、またこの集いに対して司祭団の理解が薄いなど現状が紹介された。その結果、再度検討し、司祭団の協力も得ながらすすめていくこととなった。

また、広報部会では、今年

福岡地区信徒協宣教会部会合

の広報の日の行事として、カテドラル大名町教会で5月6日(日)に講演会を行うことになった。講師には、仙台教区大船渡教会の信徒で医者の山浦玄嗣(はるつづ)氏を招くことになった。山浦氏は、地元の言葉であるケセン語で聖書を翻訳出版している。

昨年の大震災と津波で、出版間近だった新しいケセン語の聖書『ガリラヤのイエシュ』が海水をかぶったが、出版することができたというエピソードなどもお聞きできるのではないかと、期待を込めて、その準備委員会を発足した。

当日は、佐賀県内の各小教区から4人の司祭と約100人の信徒が参加。9つのグループに分かれて福岡教区信徒研修会に倣った方法で分かち合いが進められた。日曜日の午後の半日だけのスケジュールに時間が足りないという声もあったものの、それぞれ有意義な分かち合いをすることができた。

最後に佐賀教会の平田敬神父が挨拶し、「今日の研修会は、その場限りのものではな

く、実りあるものにするための試みであったが、みなさんの笑い声に包まれ、心を開いてともに喜び、共感することができたと思います。教会の教えとは頭の中で考えるものではなく、私たちの生活の中に活かされていくもの。佐賀地区の信徒がこうして集まる機会を持ち、地域で活かされる開かれた教会になれば幸いです。」と述べられて研修会を締めくくった。

外国人と共に生きる会「KOMUSUTAKA」と佐藤氏のパネルディスカッションが行なわれた。地元熊本から英語とタガログ語で通訳が付き、移住移動し結婚した方がしなければならぬ大事な手続きの問題をより詳しく提議された。

今年7月9日に「外国人登録法」が廃止され、「在留管理制度」に移行するため、各自が市町村役場に出向き情報を得、手続きをしなければならぬことになる。参加者の真剣な質問が多く、今回のセミナーの意義が確認された。

また託児室の子ども達は、折り紙や手話を習い、プレゼ

ンテーションで聖歌「私をお使いください」を披露した。最後に感謝のミサが宮原良治司教主式で行われ、その中で司教は、「お互いの文化を豊に子ども達に伝えてください」と励ました。

この委員会の長崎教会管区代表である川口敏神父(大分教区延岡教会主任)が、来年の再会を約束します、と挨拶し2011年度のセミナーが終了した。

受付やベビースターのサポートを受け持った熊本地区の女性の会のメンバーは「国籍を越えて多くの人々が結び合えることは、本当に素晴らしいと思います」と語った。

あかとんぼ 赤蜻蛉 三木 露風

夕焼小焼の あかとんぼ 負われて見たのは 一つの目か。

この詩を作ったのは、彼が北海道のトラピスト修道院にいた頃である。おんぶされて見た赤とんぼ、第三連にある「十五で姐やは嫁に行き」お里のたよりも絶えはてたおんぶしていたのは母だと思っていたが、真実はどちらも十五の姐やである、とのことである。お母さんは露風が赤ちゃんのとき、いつも子守唄のようにして長い歌を歌って聞かせていた。「私が詩を作るようになったのは、偏に神様の御恩寵であるが、その中であつて母の愛も、与つて力があつた。それを聞くと何とも言えず、懐かしい気がした」と述べている。彼は一時、北原白秋とともに白露時代を現出した大詩人であつた。大正二年、東海道を旅行中、偶然寄つた沼津天主公教会で、宣教師ピリン師と伝道士水田為一を識り、トラピスト修道院のことを聞き、折柄是非共、修道士になろうと、思ひきはめたのであつた。妻なか夫人と共に大正九年から四年間、文学の講師として招聘された。同十一年、復活祭に露風の才能を見込んで、講師就任を要請した初代院長(フランソワ・ブリーエ)によって受洗した。2人の霊名はパウロとアンナであつた。昭和三年、交通事故に遭い入院妻はすぐに教会に連絡し、病者の塗油が施された。葬儀の中で、教皇ピオ11世と勲四等瑞宝章の叙勲があつたことが披露され、高山小学校代表32人が、近衛秀麿の指揮で「赤とんぼ」を合唱して多大の感銘を与えた。彼は我が国最初のカトリック詩人であつた。箱崎教会信徒 森山敬三



☆「簡単に暮らすセラピー」 「ゆつたりと生きるセラピー」

ライナス・マンディ R・W・アリー 文 絵

サンパウロ福岡宣教センター オープン10周年記念感謝セール! 【期間】2012年2月22日(水)~4月7日(土)

御像・十字架・ロザリオ...他 聖品 5%引き!

サンパウロ福岡宣教センター 10:00~18:00(月~土)/日・祝日休業/地下鉄有明駅より徒歩3分/駐車場完備 〒810-0042 福岡市中央区有明1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930

好評「セラピーシリーズ」の13・14冊目です。3月11日に起こった大震災から日本人は本来の生きかたを見つめなおしはじめたといわれています。「簡単に生きる」「ゆつたりと生きる」これこそ大切にしなければいけないことでしょう。おなじみの「ほっこりセラピー妖精」が登場し、貴重な宝を見つけるヒントを提供してくれます。サンパウロ発行

税込定価 735円

☆詞華集 日だまりに 女子パウロ会編



ゆつたりと、しつかりと、心に寄り添う言葉の花束。「こころ」、「わたし」、「さがし」、「いのち」、「夢」、「祈り」についての美しく力強い詩詞、名言がいっぱい。女子パウロ会発行 税込み 1050円

なんでもお問い合わせください

ジャパン・スマイルか

代表取締役 マルゴリタ・マリア 吉田由美子

〒810-0044 福岡市中央区大濠4丁目8番4号

TEL 092-781-0800

http://www.japan-smile.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション

自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。費用は医療、介護保険でのご利用になります。

春日市上白水 5-11-102 092-517-6313

福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

総合建築業

- ・一般住宅(新築・改築工事)
- ・鉄骨工事
- ・RC工事

建築の事なら何でもお気軽にご相談ください

有限会社 森山工務店

ヨゼフ 森山新太郎

福岡市早良区四箇1丁目15番28号

☎(092) 811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い

セント・ポール FUKUOKA

カトリック教区、信託用具、ビデオ・DVD・CD

福岡市中央区大濠2丁目大名町カトリック教会1F

平日/AM10時~PM5時40分

日・祝日/AM11時~PM4時(休館日)

TEL 092-721-2032 FAX 092-721-2031

URL http://www.pcc-inc.co.jp

救いの秘儀を知り、追体験し、生き、伝える

2012年福岡地区聖書講座 ②

年間テーマ：福音 ～イエスとの出会い

『マルコによる福音書を読む』

日 時：3月18日(日) 14:00

テーマ：歩みのはじめ！ 最初の感激

講 師：十時伸治神父(光丘教会協働司祭)

場 所：カトリック大名町教会1階講堂

主 催：福岡地区信徒使徒職協議会 聖書典礼部会

2012年度北九州地区聖書講座

年間スローガン：ともに学び、生活の場で伝えよう

～マルコによる福音書に導かれて～

日 時：4月15日(日) 14:00～16:30

テーマ：イエスの死と復活を語る

場 所：カトリック小倉教会

主 催：北九州地区信徒協・聖書部会

問合せ先：☎093・293・4981 松尾

聖書に集う会

日 時：2012年3月5日(月) 19時～20時30分

テーマ：福音書って何？

場 所：サンパウロ福岡宣教センター1階会議室

講 師：鈴木信一神父(聖パウロ会司祭)

対 象：19歳以上 どなたでも／参加費：200円

持参品：新約聖書(出版社不問)

申 込：不要

次 回：4月2日(月)

連絡先：092・721・2032(平日10:00～18:00)

第50回アイルランド国際聖体大会
日本公式巡礼団 募集

大会テーマ＝「聖体：キリストとの一致、わたしたち同士の一一致」

旅行期間＝2012年6月9日(土)～6月19日(火)11日間

巡礼団長＝幸田和生司教(東京大司教区補佐司教)

旅行代金＝498,000円(詳細はお問合せください)

現地同行司祭＝ダニエル・ホーガン神父(聖コロナン会)

申込締切＝2012年5月9日

＊福岡教区でお働きいただき、帰国なさっているコロナン会の

司祭を訪問し共同司式、交流、墓参なども企画されています。

企画協力＝日本カトリック司教協議会

ご予約・お問合せは

(株)阪急交通社 団体営業部 東京団体支店

Tel.03-6745-7377 Fax.03-6745-7371

http://www.hankyu-travel.com/kikaku/vec/

福岡地区エキュメニカル推進の集い 第5回



日 時：2012年3月25日(日) 16時～18時

場 所：大名町教会、1階信徒会館

対 象：福岡地区の信徒の方(興味のある方)

第一部：開会(祈りと種々の報告)

第二部：養成(教えと分かち合い)

講師：ミシェル神父(箱崎教会主任)

第三部：活動協議(これからの活動協力について)

募集中

第50回クルシリヨ開催のご案内

日 程：2012年5月4・5・6日

場 所：福岡黙想の家

指導司祭：竹森勇神父(水巻教会)

参加費：12,000円

申込期限：2012年3月20日厳守

連絡先：☎093-592-0316 徳永哲

主 催：福岡教区クルシリヨ担当



福岡教区広報室アドレス

http://fukuoka.catholic.jp

E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

案 内 板

会合と催し

3月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 3月

5日(月)～7日(水) 御受難会 共同体の日

10日(土) キリスト者医科連盟 黙想と祈りの集い

15日(木) 四旬節 一日講話(指導：来住英俊神父)

17日(土) 福岡チェナクルム

17日(土)～18日(日) 四旬節一泊黙想会(指導：来住英俊神父)

20日(火) 福岡・自由ヶ丘キリスト教会 一日静修

22日(木) 四旬節 一日講話(指導：来住英俊神父)

24日(土)～25日(日) 四旬節一泊黙想会(指導：来住英俊神父)

26日(月)～30日(金) オプレート会 黙想会

★祈りの日・・3月6日(火)・20日(火)はお休みです。

〒811-4155 福岡県宗像市名残1056

☎0940・32・3222 0940・32・3385

Email: fmokuso@mvi.biglobe.ne.jp

インターネットで検索 **福岡黙想の家** **検索**

真命山諸宗教対話・霊性交流センター

※祈りの集い

年間テーマ：御聖体、愛の秘蹟

・日 時：3月8日(木) 10時～14時半

・内 容：「超越」の羊子

指 導 者：フランコ・ソットコロノラ神父(真命山院長)

ダニエレ サルツィ・サルトリ神父

Sr.マリア・デ・ジョウルジ

問合せ先：真命山諸宗教対話・霊性交流センター

・次 回：4月12日(木) 教会を生み出す聖体

☎0968・85・3100 0968・85・3186・玉名郡和水町蜻浦

1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

福 岡

◆ ザビエル合唱団会員お知らせ

【日時】3月10日(土)／4月28日(土) 13時半(場所)カトリック西新教会(指導)橋本ノ・ポランテア会(お願い)支援のためのバザーも開催します。手作り作品、軽食など

【第47回虹の会定例会】(日時)3月17日(土) 13時30分から16時30分(場所)カトリック大名町教会(参加費)600円(問合せ先)090・162・6395 柴田

【カルメル在世会】(日時)3月19日(月)10時半から(場所)福岡女子カルメル会修道院聖堂・テレサの家(内容)ミサ・講話「創立史」(大聖テレジア著「指導」カルメル会司祭問合せ先)097・551・1360(中林)

【聖ヨアキムと聖アンナ会】(日時)3月19日(月)12時(場所)カトリック笹丘教会聖堂(内容)ロザリオとミサ(参加費)献金(問合せ先)090・9568・0076 野川

【在世フランシスコ会集會】(日時)3月25日(日)14時から16時(場所)高宮フランシスコ会修道院在世会集會所(指導)エドウィン神父(高宮教会主任)(問合せ先)092・843・5831 岩崎

◆ 「アフリカ友の会」講演会

【日時】3月25日(日) 10時ミサ後(場所)カトリック笹丘教会(テーマ)「輝け アフリカの子ども達」(講師)徳永瑞子さん(NPOアフリカ友の会)(主催)聖アウグスチノ・ポランテア会(お願い)支援のためのバザーも開催します。手作り作品、軽食など

【心の健康セミナー】(日時)5月13日(日) 14時より(場所)カトリック黙想の家ログハウス(テーマ)病との付き合い方(指導者)小宮豊氏(精神科医師)(参加費)自由献金(主催)支える会(問合せ先)0940・32・173 宗像市 矢田

◆ 熊本

【熊本地区召命を共に祈る会】(日時)3月19日(木) 11時(場所)カトリック健康教会(問合せ先)健康教会096・368・2825 青木悟神父

【カトリック看護協会福岡支部の集まり】(日時)3月20日(日) 14時30分(場所)聖心病院(問合せ先)096・352・7181 Sr.竹内

◆ 佐賀

【佐賀祈りの集い】(日時)4月7日(土) 10時毎月第1土曜日(場所)佐賀カトリック会館(内容)ミサと祈り(問合せ先)095・2・30・8347 吉武

◆ 熊本

【熊本地区召命を共に祈る会】(日時)3月19日(木) 11時(場所)カトリック健康教会(問合せ先)健康教会096・368・2825 青木悟神父

【カトリック看護協会福岡支部の集まり】(日時)3月20日(日) 14時30分(場所)聖心病院(問合せ先)096・352・7181 Sr.竹内

震災のための祈りリレー

【日 時】2012年3月11日(日)

7:00 ミサ聖祭～19:00 夕の祈り

【場 所】聖パウロ会修道院

(福岡市中央区赤坂)

【問合せ先】

fr05abe19ko@yahoo.co.jp

Br.阿部光一(聖パウロ会)

＊どの時間帯にも参加自由

編集後記

今年の冬は、殊の外寒かったと思います。北の国では、豪雪による被害も多かったと聞きます。しかし春はもうそこまで来ています。「百花、春至って誰が為に開く」誰のためでもなく、己が本性のまま、もつと言えは神の摂理のまま開き、人々を喜ばせる花々のように、毎日を送りたいものです。小生の幼稚園では、園児は毎朝、「お花の心で神様をお喜ばせることが出来ますように」と祈ります。ひとすじの心で神様をお喜ばせる四旬節でありたいものです。

痛みの相談室
いくま整骨院

平日：9:30～12:00
14:30～20:00
土曜：9:30～15:00
休診：日曜・祝祭日

福岡市西区姪浜駅南1-7-12-2F

TEL 092-884-0134

ペトロ 生熊公吉

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院

医科・歯科臨床研修指定病院
地域医療支援病院
救命救急センター

総合産科医療センター
がん診療連携拠点病院
地域災害拠点病院

＊入院基本料(一般病棟)1)

〒830 8543

福岡県久留米市津福本町422

TEL0942 35 3322(代表)

FAX0942-34-3115

http://www.st-mary-med.or.jp

一緒に働きませんか？

＝募集＝

医師・看護師・医療技師

COSMOS

スポーツ用品・OA・文具 コスモス

〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3

TEL 0942-77-3199

代表者 ペトロ 平田 清

サンパウロ福岡宣教センター
オープン10周年記念感謝セール！

【期間】2012年2月22日(水)～4月7日(土)

御像・十字架・ロザリオ…他 聖品 5%引き！

サンパウロ福岡宣教センター

10:00～18:00(月～土)／日・祝日休業／地下鉄赤坂駅より徒歩3分＊駐車場完備

〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930